

八天遺跡第12次調査現地説明会

国指定史跡八天遺跡は、縄文時代後期（約4,000年前）の大規模な集落跡です。昭和51年度に発見された大形円形建物跡は、当時縄文時代最大級の住居跡として注目されました。また、墓域から出土した耳・鼻・口形土製品は全国的に注目を集め、重要文化財に指定されました。

今年度は、史跡整備を見据えた内容確認調査を実施しています。その結果、縄文時代後期の大型柱穴や集落跡、9世紀後半の竪穴住居跡、近世～近代の墓地が確認されました。貴重な史跡の調査成果を是非御覧ください。

日時: 令和7年11月1日(土)

午後1時30分から2時30分まで

※小雨開催、大雨中止

場所: 更木34地割地内

(特別養護老人ホーム八天の里の西側)



縄文時代後期中葉の大型柱穴



縄文時代後期中葉の掘立柱建物跡



9世紀後半の竪穴住居跡から出土した鋤先



〈お問い合わせ〉

北上市立埋蔵文化財センター
〒024-0043

岩手県北上市立花14地割62-2

TEL: 0197-65-0098

FAX: 0197-64-1759

E-mail: bunkazai@city.kitakami.iwate.jp